

腐食検査用ソリューション

航空宇宙

製造業

鉄鋼/材料

自動車

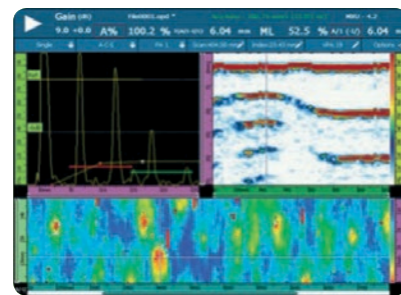
発電

パイプ/線材/棒鋼/鋼板

超音波フェーズドアレイ(PA)

広い領域における高解像な腐食マッピング

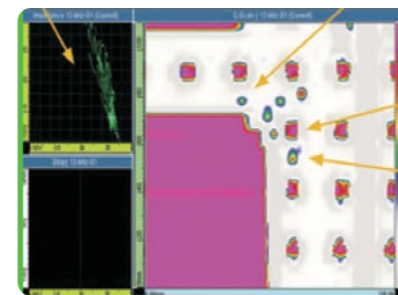
- 高精度な厚さマッピング
- 広い領域を迅速にスキャン
- より詳細な解析のために簡単にデータをエクスポート



渦流アレイ(ECA)

表面近傍の腐食をマッピング

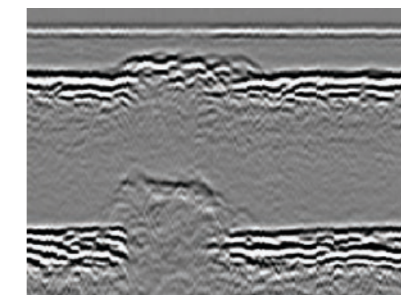
- 応力腐食割れ (SCC) などの表面腐食、あるいはアルミニウムの表面および表面下の腐食を検出
- 塗料の除去が不要。複雑なステップを省くことができるため、作業時間を短縮
- 環境にやさしい手法(化学薬品不使用)



超音波TOFD

ASME VIIの1部および2部に準じた溶接ルートの評価、および浸食損傷

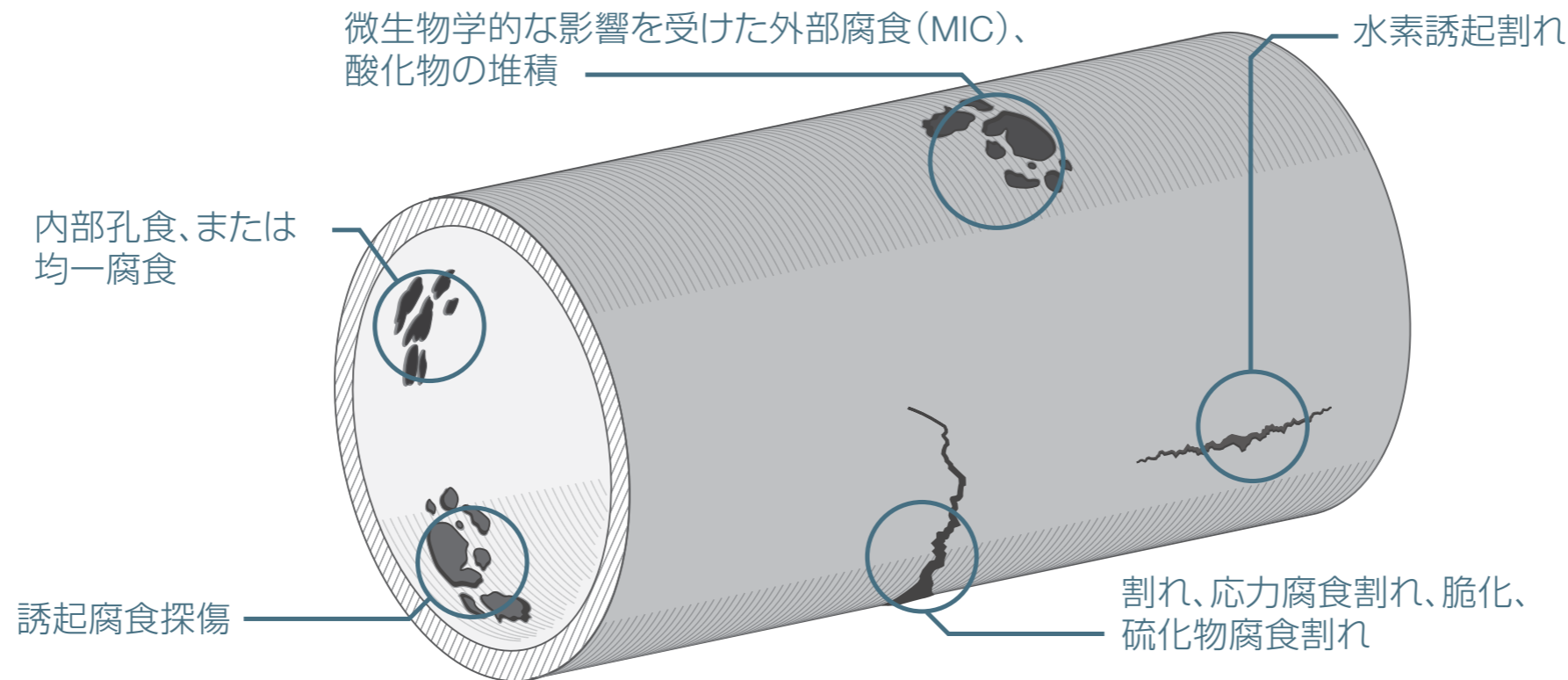
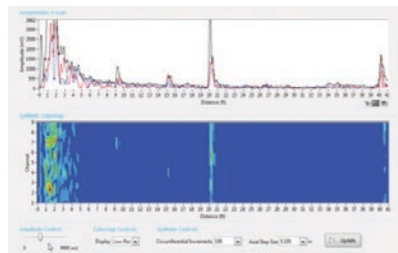
- 欠陥部の深さと長さを評価
- 迅速な画像生成とシンプルな検査方法
- 欠陥の方向性による影響を受けにくい



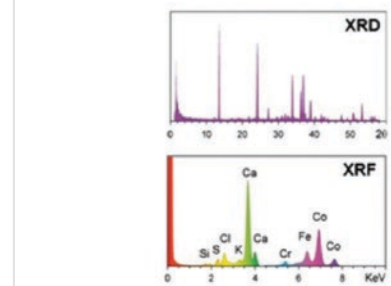
ガイド波

長距離のパイプにおける腐食をモニタリング

- 長距離のパイプをスクリーニングし、潜在的な腐食エリアを特定することにより、生産性を向上
- 埋設管や断熱管、塗覆装鋼管、垂直管、その他アクセスが制限されているエリアのパイプのスキャンが可能で、作業コストを削減
- パイプの壁全体をスクリーニングすることが可能



蛍光X線(XRF)およびX線回折(XRD)



携帯型のXRFおよびXRD

- XRFは、材料の成分元素をその場で分析することができ、重要な部材が適正な合金で構成されているかどうかを判定可能
- ポータブルXRDの技術により、腐食スケールの鉱物組成ならびに根本的な原因を特定し、さらなる腐食の発生を防止

従来型超音波(UT)

EMATを用いた、平坦ではない表面下の腐食

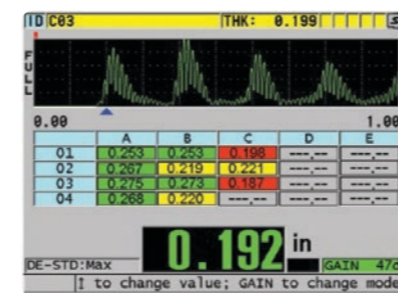
- 酸化スケールが生じた外部表面下の腐食を検査
- カプラント(接触媒質)が不要
- 高温表面でも使用可能



従来型超音波(UT)

残存肉厚測定

- 表面温度 260°C 以下の表面では、特殊な遅延線が使用可能
- エンコードスキャナーを使用し、残存肉厚のエンコード B-スキャンを生成
- ボイラー管と内部酸化スケール層の測定



工業用内視鏡検査

より迅速な判断を可能にする 3D ステレオ計測

- 工業用内視鏡(ビデオスコープ)を使用することにより、検査が困難な溶接部も目視検査することが可能
- 鮮やかな色と高画質で検出率を向上し、効率的な検査をサポート
- 検査現場で欠陥を計測することが可能な優れた 3D ステレオ計測機能

